



小学校での人材育成プログラム（スポ育）の実施



セネガル ブラインドサッカーを通じたダイバーシティ教育

2018年5月

JICAのスポーツ分野の取り組みは、Tokyo2020に向けた日本政府の公約であるスポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）の達成目標（2020年の東京オリ・パラ大会までに100カ国・1,000万人以上を対象にスポーツを通じた国際貢献を行う）に向けて貢献することが期待されています。その一環として青年海外協力隊事務局では、日本国内のスポーツ競技有識者の海外派遣事業や海外のスポーツキーパーソンの日本への招へい事業を行なっています。

2018年5月、日本ブラインドサッカー協会の有識者とブラインドサッカー女子日本代表選手をセネガルに派遣し、ブラインドサッカーを活用した人材育成プログラム(スポ育)の実施を通してセネガルでのダイバーシティ教育の普及を行うとともに、同国の障害者スポーツやブラインドサッカーに関する情報を収集しました。

～活動や目指す成果～

人材育成プログラムの実施

青年海外協力隊配属先の小学校3校でブラインドサッカーを活用した人材育成プログラム（スポ育）を実施し、ダイバーシティ教育を行いました。

教育イベントでダイバーシティ教育の実施

国民教育省「全国学校週間」に合わせJICAセネガル事務所が主催したイベントで、ブラインドサッカー体験ブースや交流戦、ブラインドサッカーに関連した5つのアクティビティブースを設置してダイバーシティ教育を行いました。

障害者スポーツ、ブラインドサッカー関連情報の収集

ブラインドサッカー選手や指導者、および国立盲学校関係者への聞き取り、協議、講習を通してセネガルにおける障害者スポーツ、ブラインドサッカーの現状、課題、今後の展開について情報を収集しました。